

方広寺創建650年記念

# 特別寺宝展

令和3年3月13日[土]—11月28日[日]

拝観時間=9:00—16:00 ※行事等により、臨時休業する場合があります。

入山拝観料=大人500円、中学生以下200円、未就学児無料

主催=方広寺重要文化財活用委員会

後援=浜松市、浜松市教育委員会、浜松・浜名湖ツーリズムピューロー

臨済宗大本山方広寺

奥山百老図[部分] 鬼頭道恭筆 明治(19~20世紀)

Masterpieces of Zen Culture from  
**HOKUI**



最新情報は  
こちら



- 1 静岡県指定文化財 無文元選像  
無言智納賛 南北朝時代・応安6年(1373)  
2 東照大権現像 狩野寿信筆 明治16年(1883)  
3 二祖慧可像 中国・元時代(14世紀)  
4 墓蹟額字「方広寺」 独湛性澄筆  
江戸時代(17~18世紀)  
5 仙山樓閣図 谷文晁筆  
江戸時代・文化11年(1814)  
6 寒山詩 山岡鉄舟筆 明治(19世紀)



3

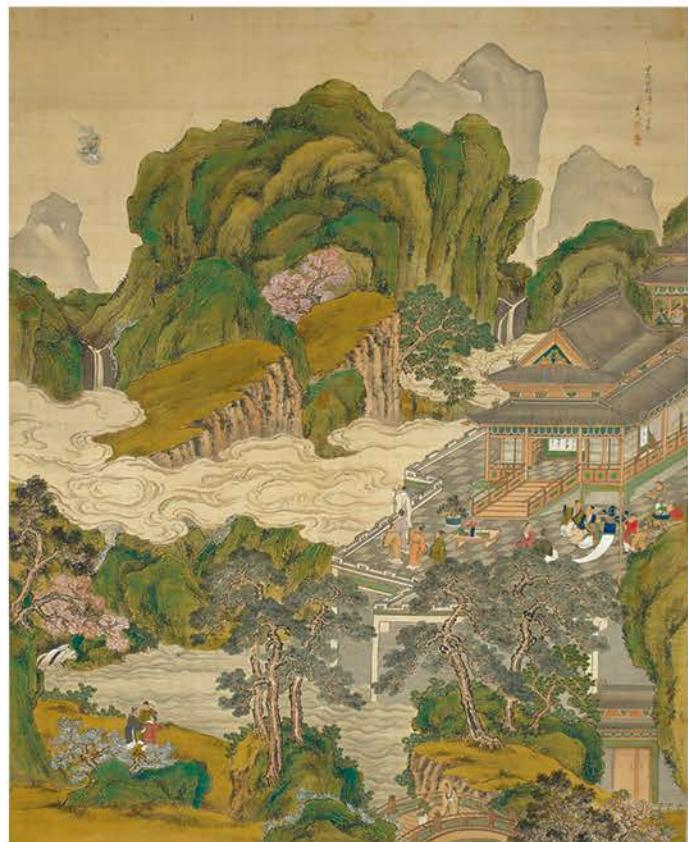
# Masterpieces of Zen Culture from **HOKOJI** 方広寺創建650年記念 特別寺宝展

遠江奥山の静寂な空間のなかに伽藍を構える深奥山方広寺(深奥山方広万寿禅寺、臨済宗方広寺派大本山、静岡県浜松市北区引佐町奥山)。応安4年(1371)、井伊家の一族である奥山六郎次郎朝藤によって開創された禅刹です。朝藤は後醍醐天皇の皇子・無文元選(円明大師・聖鑑国師、1323~90)に帰依しており、師を開山に招請しました。後醍醐天皇の追善と師の法恩に報いるための創建と伝えられています。奥山へ入山した無文は、この地の幽邃な景観が中国天台山方広寺を彷彿とさせることから、「深奥山方広万寿禅寺」と名付けました。無文のもとへ参集した雲衲は500人と伝えられ、師の教えは現在も受け継がれています。

また、元に渡った無文が帰朝する途次、渡航を守護したという半僧坊大権現が方広寺の鎮守として祀られています。方広寺は開創以来、度重なる火災に見舞われていますが、明治14年(1881)の大火では、伽藍のほとんどが焼失するなか、半僧坊を祀る半僧坊真殿は被害を免れたことから、海難除けにくわえ火伏の神としての信仰をも集めています。さらに、近年注目を集めている井伊直虎や山岡鉄舟ゆかりの地として多くの人々に親しまれています。

令和3年(2021)、方広寺は開創650年を迎えます。これを記念して、方広寺の歴史や禅文化を広く知って頂くため、特別寺宝展を開催いたします。

本展覧会では、花園大学歴史博物館と禅文化研究所デジタルアーカイブス事業との共同調査の成果として、幾度もの災禍をくぐり抜け、今日に護り伝えられてきた方広寺の寺宝を展観します。無文元選関連資料をはじめとする寺史資料はもとより、黄檗僧との交流を伝える遺墨群や、江戸期から近代における絵画の優品、さらには方広寺の宗風を慕う人々より寄進された書画を通じ、方広寺の歴史を紹介するとともに、同地に華開いた禅文化の魅力に迫ります。



## 臨済宗大本山方広寺

浜松市北区引佐町奥山1577-1  
tel.053-543-0003 fax.053-543-0249  
<http://www.houkouji.or.jp/>

方広寺ホーム  
ページはこちら

